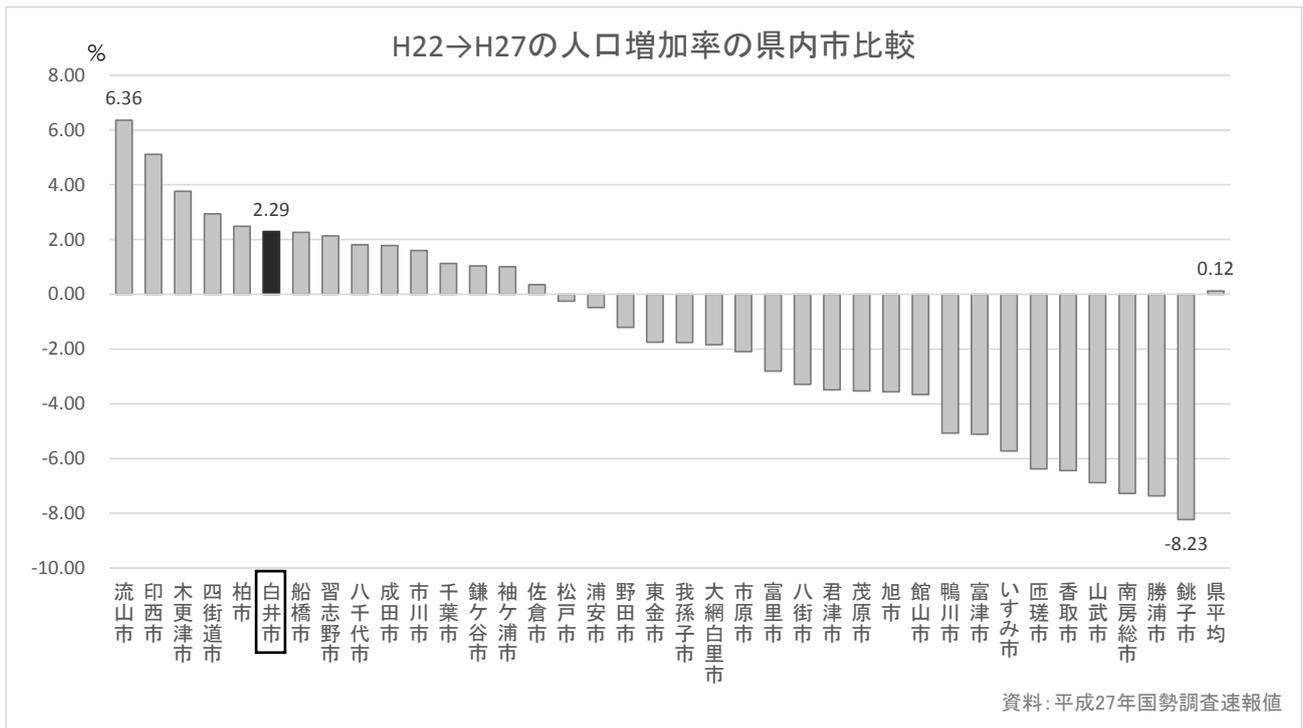
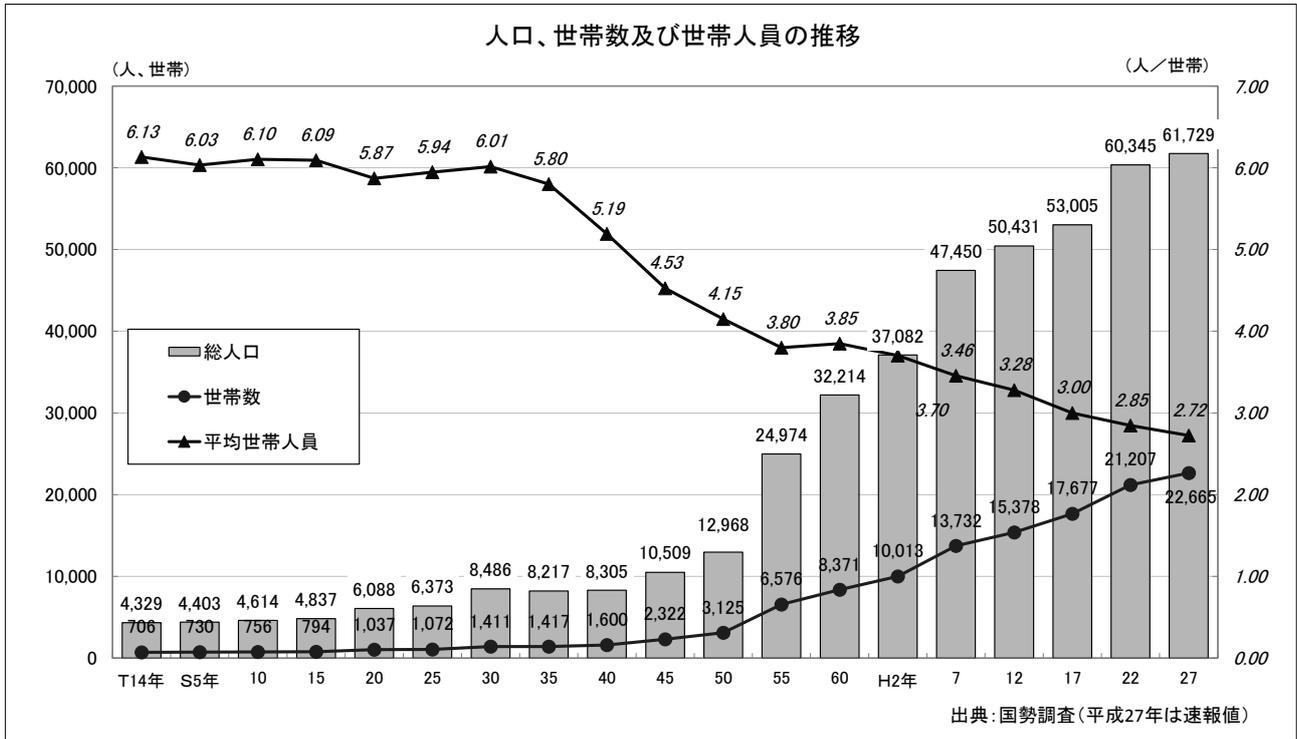


1 人口・世帯数

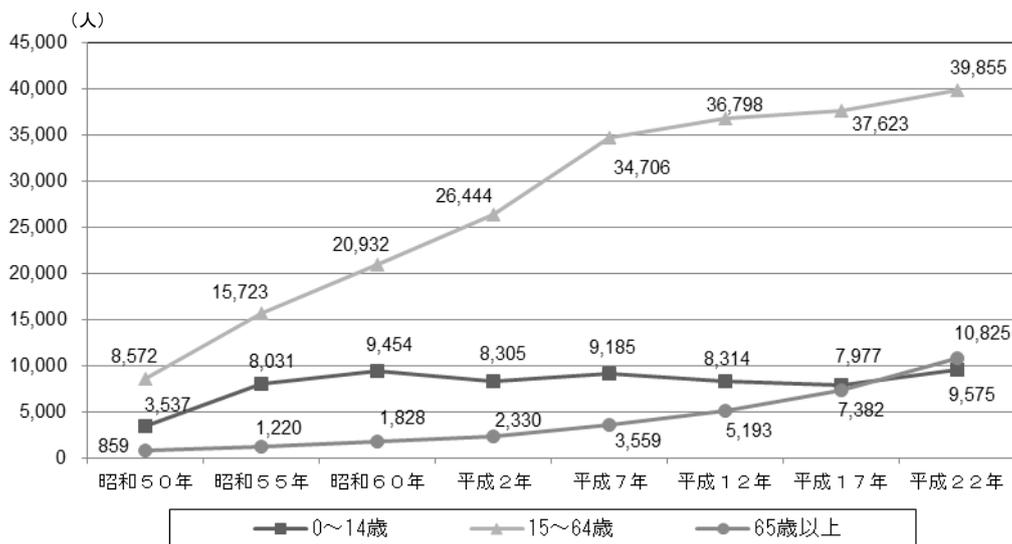
(1) 人口・世帯数の推移

- 白井市の人口は昭和54年の千葉NT街開き以降に急増している。
- 平成27年国勢調査速報値の人口は61,729人、世帯数は22,665世帯となっている。
- 人口の伸びは鈍化しているが、県内市では6番目に高い伸び率となっている。



(2) 年齢3区分別人口の推移

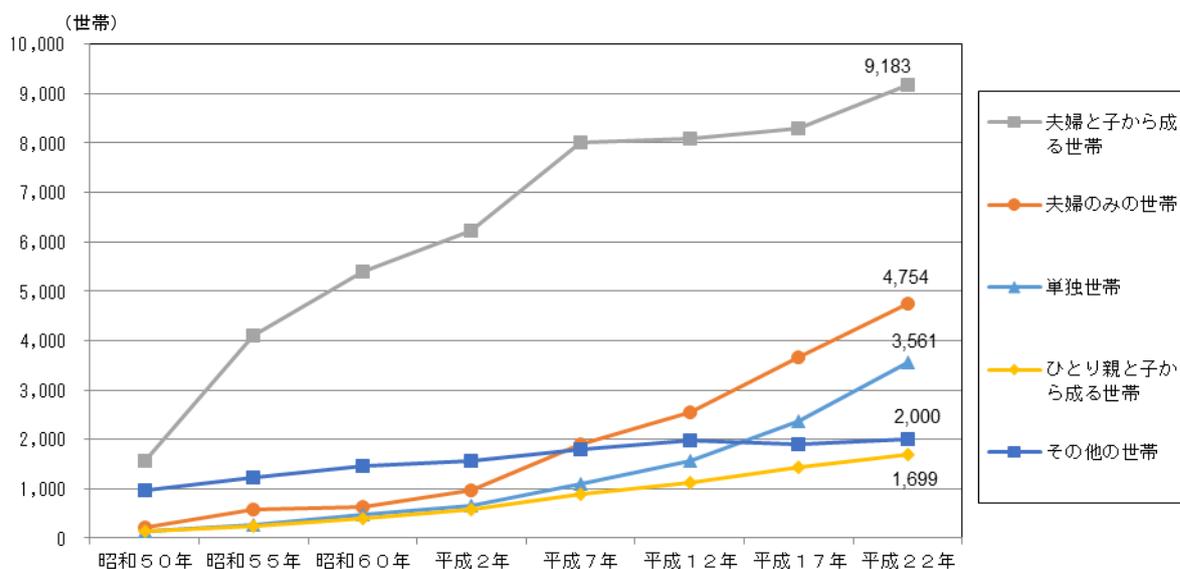
- 15～64歳の生産年齢人口、65歳以上の老年人口は増加傾向が続いているが、0～14歳の年少人口は昭和60年以降横ばい傾向で、平成22年には65歳以上人口が0～14歳人口を逆転している。



資料：国勢調査

(3) 家族類型別世帯数の推移

- 3世代世帯などを含む「その他の世帯」は横ばい傾向にあるが、それ以外の家族類型別世帯数は増加傾向にある。近年では夫婦のみの世帯や単独世帯の増加が著しい。
- 構成比で見ると、夫婦と子から成る世帯が昭和55年以後減少し続ける一方で、夫婦のみの世帯と単独世帯の比率が上昇しており、平成22年には4割弱を占める。

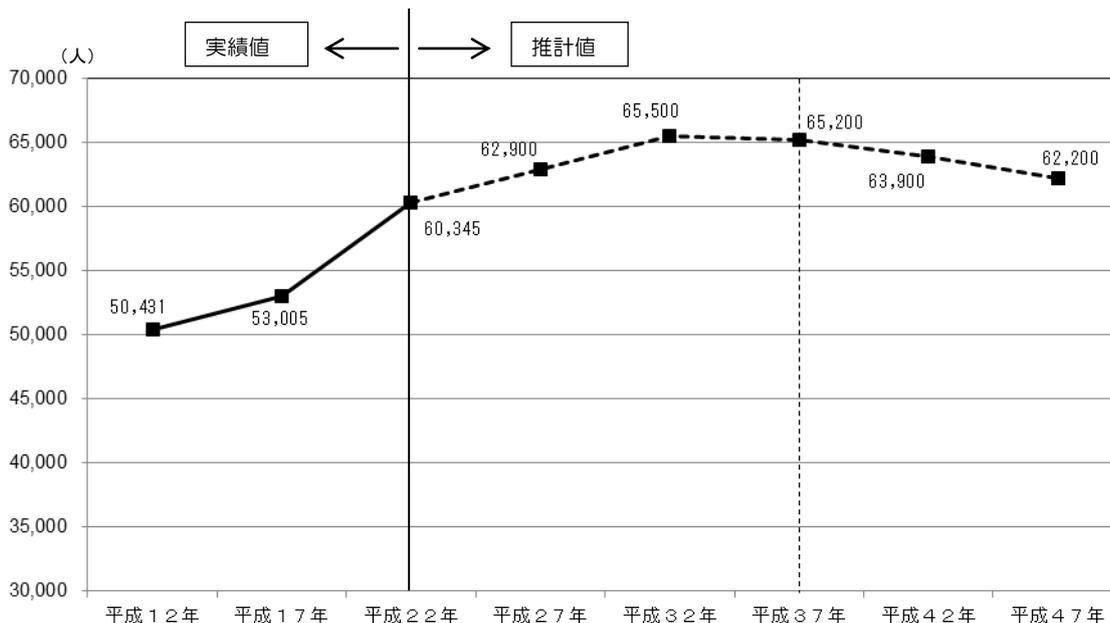


資料：国勢調査

(4) 将来人口

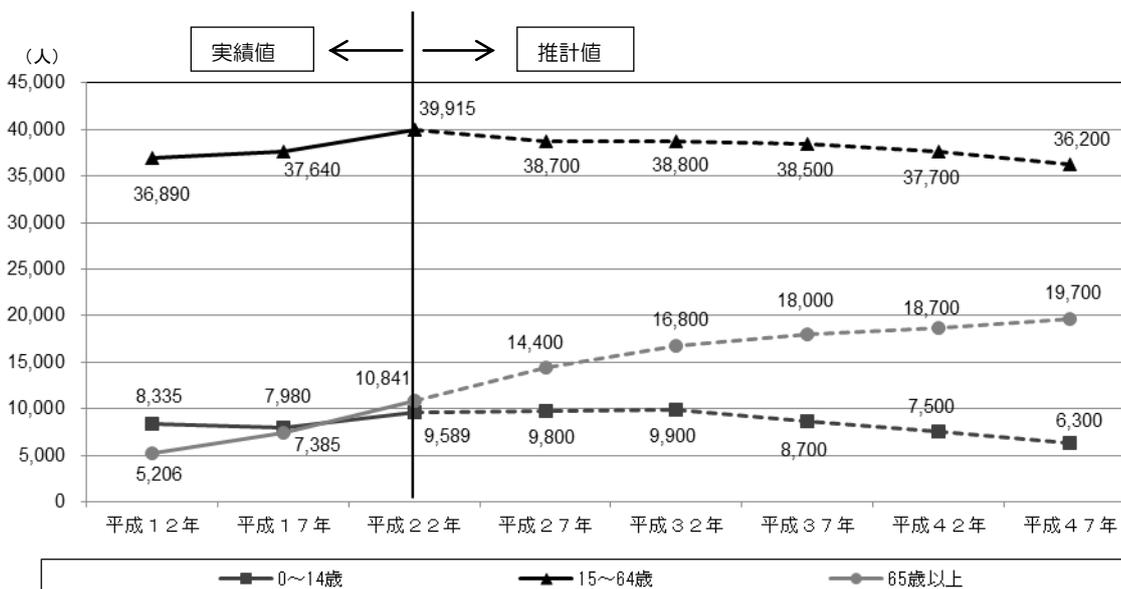
① 総人口

● 将来的な開発なども加味した将来人口推計では、白井市の人口は平成 32 年の 65,500 人をピークに減少に転じるものと推計されている。



② 年齢 3 区分別人口

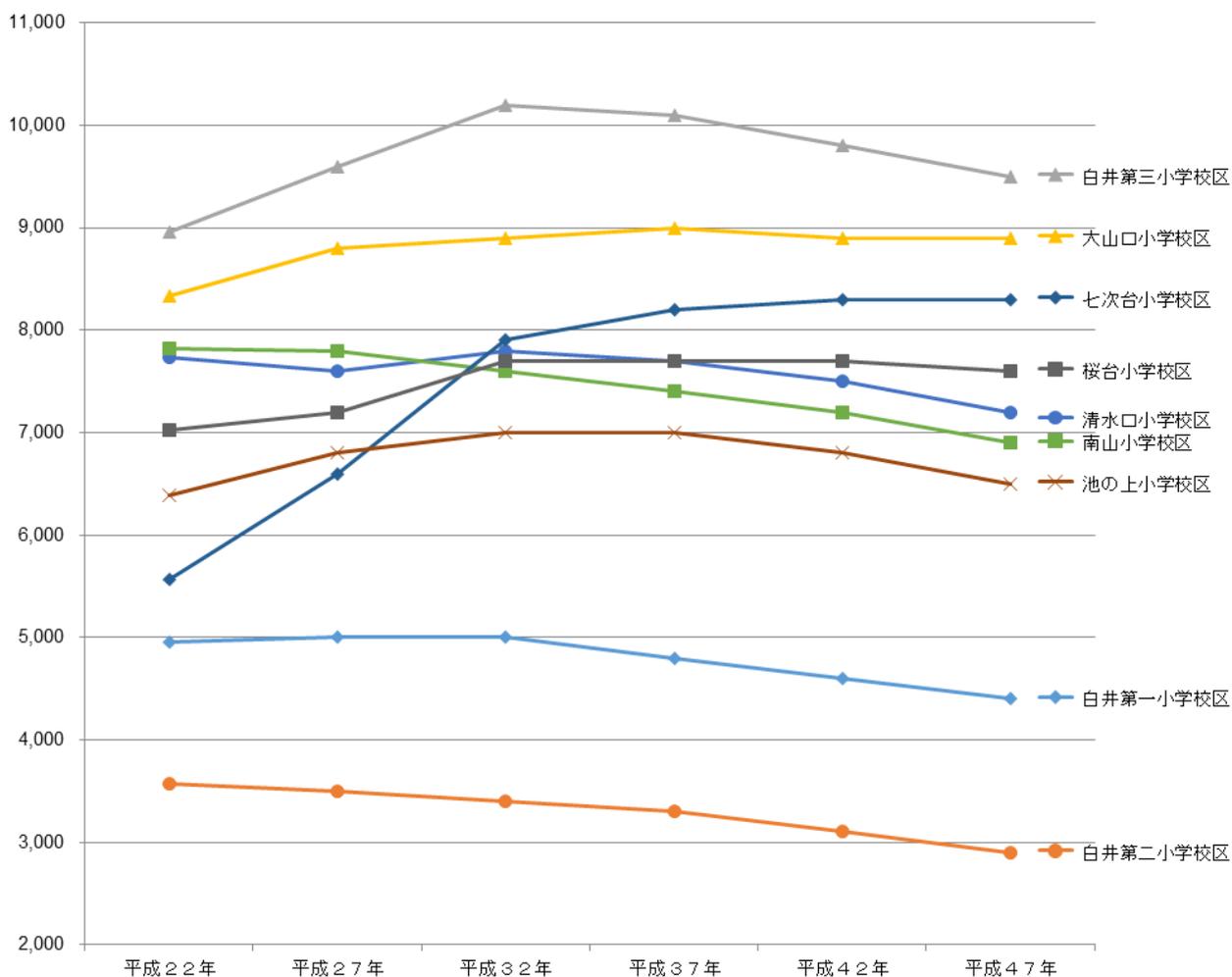
● 年齢 3 区分別にみると、0～14 歳の年少人口及び 15～64 歳の生産年齢人口は平成 22 年以降、横ばいから減少傾向になっていくのに対し、65 歳以上の老年人口は継続して増加するものと推計されている。



③小学校区別将来人口

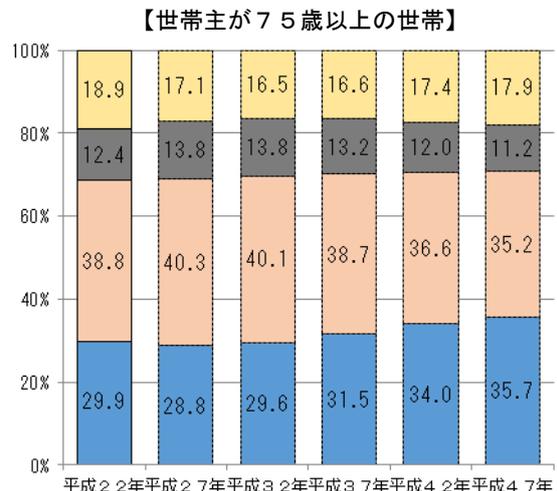
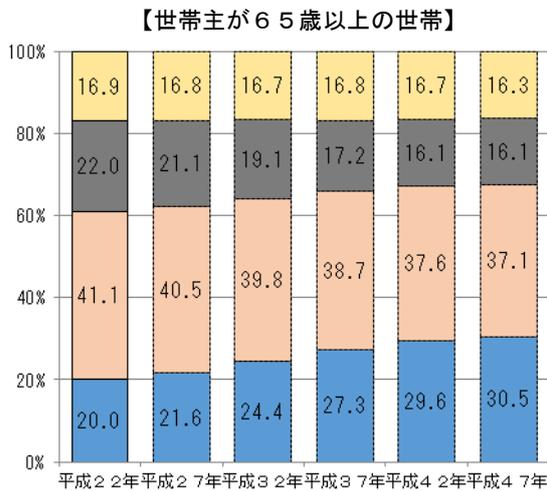
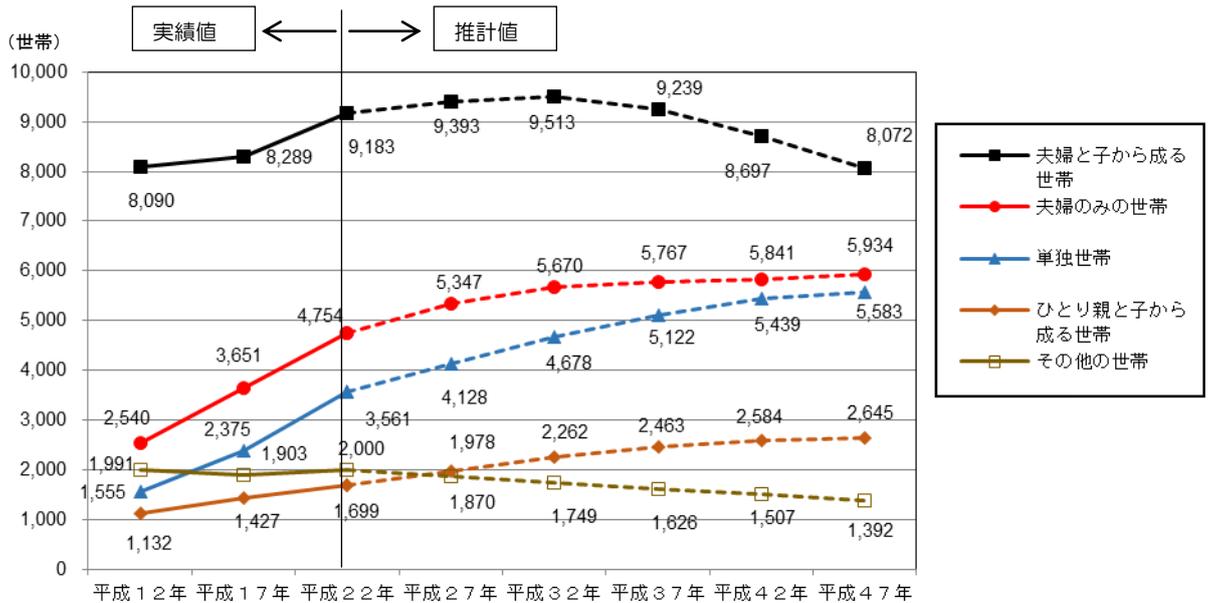
●小学校区別の将来人口では、七次台小学校区で 1.5 倍近く増加する一方、第 2 小学校区は 20%近い減少、南山小学校区、第一小学校区、清水口小学校区でも 10%程度の減少が見込まれる。

	実績	推計					増減率
	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	H22→47
白井第一小学校区	4,955	5,000	5,000	4,800	4,600	4,400	-11.2
白井第二小学校区	3,567	3,500	3,400	3,300	3,100	2,900	-18.7
白井第三小学校区	8,956	9,600	10,200	10,100	9,800	9,500	6.1
大山口小学校区	8,332	8,800	8,900	9,000	8,900	8,900	6.8
清水口小学校区	7,738	7,600	7,800	7,700	7,500	7,200	-7.0
七次台小学校区	5,560	6,600	7,900	8,200	8,300	8,300	49.3
南山小学校区	7,824	7,800	7,600	7,400	7,200	6,900	-11.8
池の上小学校区	6,392	6,800	7,000	7,000	6,800	6,500	1.7
桜台小学校区	7,021	7,200	7,700	7,700	7,700	7,600	8.2
合計	60,345	62,900	65,500	65,200	63,900	62,200	3.1



(5) 将来世帯数推計

- 家族類型別の世帯数では、「夫婦と子から成る世帯」及び「その他の世帯」で減少が進む一方、「単独世帯」、「夫婦のみの世帯」、「ひとり親と子から成る世帯」は増加が続く。
- 世帯主が65歳以上の世帯及び75歳以上の世帯の家族類型別の構成比の推移をみると、平成22年から平成47年にかけて、単独世帯の比率は、65歳以上で20.0%から30.5%に、75歳以上では29.9%から35.7%に上昇すると推計される。

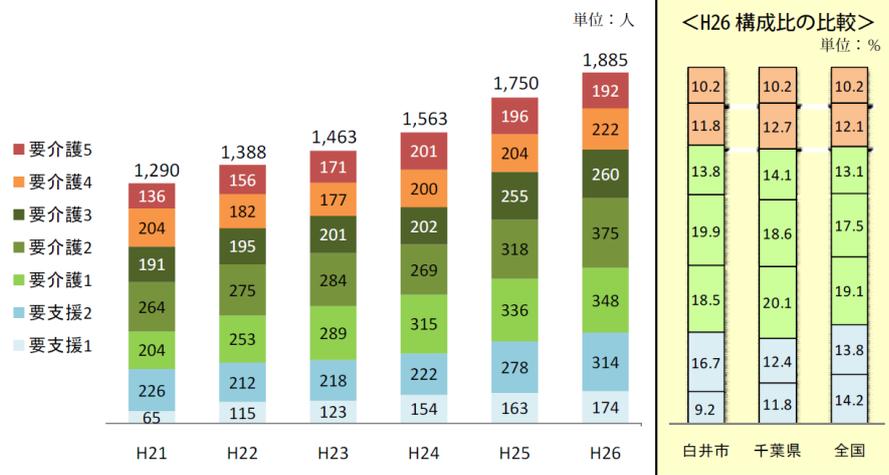


2 高齢者

(1) 介護保険認定者数

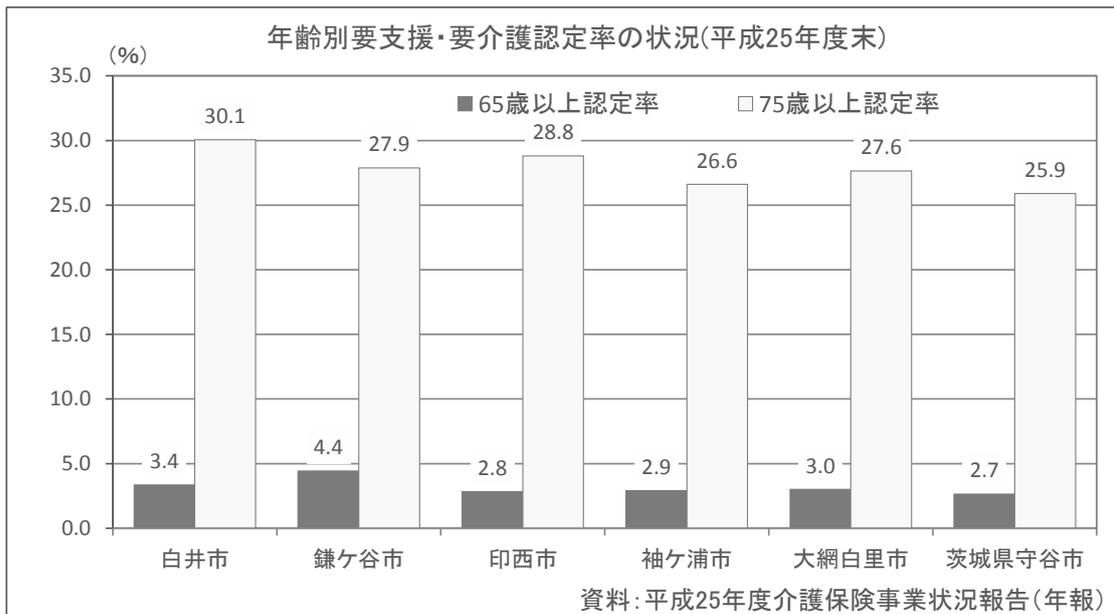
- 本市の介護保険の要支援・要介護認定者数は平成 21 年の 1,290 人から平成 26 年には 1,885 人へと5年間で 600 人近く増加している。
- 程度別の構成比を県や国の平均と比較すると、要支援2の比率が高いなど、軽度の比率が高くなっている。
- 年齢別の要支援・要介護認定率を近隣・類似都市と比較すると、65～74 歳では鎌ヶ谷市に次いで比率が高く、75 歳以上では最も比率が高い。

■白井市における最近の要介護（要支援）認定者数の推移



資料：介護保険事業状況報告（各年9月）

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計が100になりません。



3 障害者

- 平成 21～25 年の障害者（児）数の推移をみると、すべての障害種類で増加しているが、精神障害者では 6 割弱、知的障害は 2 割以上の増加と増加率が高い。
- 程度別の構成比をみると、区分 4 の比率が低下する一方、区分 1～3 は比率が上昇する傾向にある。

障害者（児）数の推移（障害者手帳所持者数）

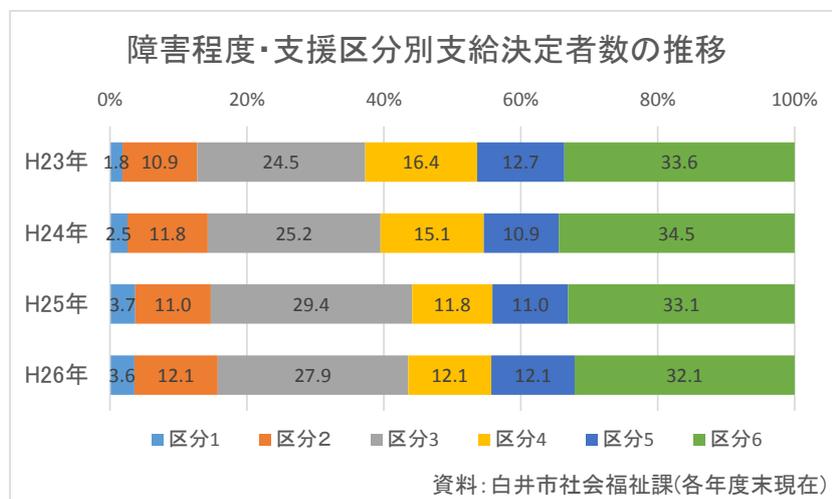
区分	年度	身体障害者総数	身体障害者					知的障害者総数	精神障害者総数
			視覚障害	聴覚等障害	音声等障害	肢体不自由	内部障害		
実数 (人)	H21年	1,288	74	83	17	709	405	222	139
	H22年	1,366	86	86	19	733	452	227	158
	H23年	1,361	76	89	18	733	445	236	171
	H24年	1,397	73	91	21	764	448	248	182
	H25年	1,414	77	96	20	770	451	269	219
増加率	H21→25	9.8%	4.1%	15.7%	17.6%	8.6%	11.4%	21.2%	57.6%

資料：白井市社会福祉課(各年度末現在)

障害程度・支援区分別支給決定者数の推移

区分	年度	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
実数 (人)	H23年	2	12	27	18	14	37	110
	H24年	3	14	30	18	13	41	119
	H25年	5	15	40	16	15	45	136
	H26年	5	17	39	17	17	45	140
構成比 (%)	H23年	1.8	10.9	24.5	16.4	12.7	33.6	100.0
	H24年	2.5	11.8	25.2	15.1	10.9	34.5	100.0
	H25年	3.7	11.0	29.4	11.8	11.0	33.1	100.0
	H26年	3.6	12.1	27.9	12.1	12.1	32.1	100.0

資料：白井市社会福祉課(各年度末現在)



4 児童

(1) 入所保留児童数

●本市の平成28年4月時点での入所保留児童数は26人で、2歳児が13人と半数を占めている。また、1歳も6人と比較的多く、1～2歳に集中している。

入所保留児童数〈平成28年4月利用調整後の空き状況（3月22日現在）〉

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
清水口保育園	0	0	3	0	0	0	3
南山保育園	0	1	2	2	0	0	5
桜台保育園	0	0	0	0	0	0	0
はなぶさ保育園	0	5	3	0	0	2	10
白井保育園	0	0	0	0	0	0	0
白井ふじ保育園	0	0	2	1	1	0	4
こざくら保育園	0	0	3	1	0	0	4
ひまわり保育園	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	6	13	4	1	2	26

資料：白井市保育課

※入所保留児童：特定の保育園を希望するなど個別の事情により入所が保留となっている児童

5 保健

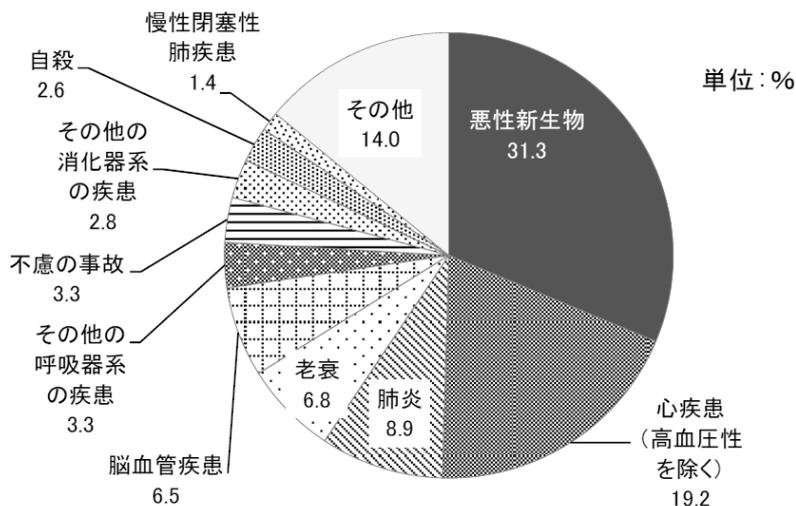
(1) 死因別死亡数

- 平成 26 年の本市の死因別死亡数は悪性新生物が約 3 割で最も多く、心疾患が 2 割、肺炎が 1 割弱となっている。
- 県平均と比較すると、悪性新生物や心疾患、肺炎などの上位の死因の人口 10 万人当たり死亡数は少ない一方、その他の呼吸器系の疾患などは死亡者数が多い。

白井市					千葉県				
死因	総数	男	女	人口 [○] 10万人 当たり	死因	総数	男	女	人口 10万人 当たり
悪性新生物	134	81	53	217.6	悪性新生物	16,068	9,681	6,387	259.3
心疾患	82	38	44	133.2	心疾患	9,502	4,722	4,780	153.3
肺炎	38	21	17	61.7	肺炎	5,389	3,021	2,368	87.0
老衰	29	2	27	47.1	脳血管疾患	4,705	2,399	2,306	75.9
脳血管疾患	28	18	10	45.5	老衰	3,077	750	2,327	49.6
その他の呼吸器系の疾患	14	5	9	22.7	その他の呼吸器系の疾患	2,132	1,234	898	34.4
不慮の事故	14	8	6	22.7	不慮の事故	1,370	831	539	22.1
その他の消化器系の疾患	12	4	8	19.5	自殺	1,215	825	390	19.6
自殺	11	9	2	17.9	腎不全	905	457	448	14.6
慢性閉塞性肺疾患	6	5	1	9.7	その他の消化器系の疾患	903	425	478	14.6

(注) 並び順は総数の多い順です。

資料：千葉県衛生統計年報（平成26年）



資料：千葉県衛生統計年報（平成26年）

6 生活困窮

- 生活保護の被保護世帯数及び実人員は増加する傾向にあり、世帯数は平成 15～25 年で 3 倍近く、実人員は 2.4 倍程度増加している。

生活保護実数及び種類別被保護人員

年度	実数(世帯・人)		増減率(%)	
	被保護世帯数	被保護実人員	被保護世帯数	被保護実人員
H15年度	79	132		
H16年度	91	156	15.2%	18.2%
H17年度	101	164	11.0%	5.1%
H18年度	110	172	8.9%	4.9%
H19年度	110	178	0.0%	3.5%
H20年度	122	176	10.9%	-1.1%
H21年度	157	219	28.7%	24.4%
H22年度	198	280	26.1%	27.9%
H23年度	217	312	9.6%	11.4%
H24年度	228	321	5.1%	2.9%
H25年度	232	313	1.8%	-2.5%
H15→25	-	-	193.7%	137.1%

資料：白井市社会福祉課